

領収書



猪瀬 朱美様

取引年月日: 2025年10月31日(金)

下記正に領収いたしました。

領収書番号: R-251030254405

合計金額 (税込) 19,037円

ラクスル株式会社



10%対象 19,037円 (内消費税: 1,730円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー-19F

登録番号: T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
251030254405-01	チラシ・フライヤー / A3 / 両面カラー / 光 沢紙(コート) / 標準: 90kg / 折り加 工: 2つ折り(センター折り)	3,000部	17,307円	出荷予定日: 2025年11月3日 政務活動報告書 3 0 0 0 部

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 17,307円
小計 (税抜)	17,307円
合計金額 (税込)	19,037円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

領 収 証

猪瀬 朱美

様 No. _____

★

¥ 14,553-

但

折込料 2700枚 11/9入札

7年 11月 7日 上記正に領収いたしました 登録番号 登録番号 T2060002040350

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

栃木県佐野市伊勢山町1804
有限会社メディアネットワーク三澤
代表取締役 三澤 潤

TEL 0283 (27) 2040
FAX 0283 (27) 2041



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

みんなで創る佐野市の明るい未来



ミモザ通信

佐野市議会議員 いのせ朱美



第1号 発行日：2025年11月1日発行 発行者：猪瀬朱美

6月・9月定例会で一般質問登壇



ごあいさつ

市民の皆さまこんにちは。このたび4月の選挙で当選し、市議会議員としての第一歩を踏み出しました猪瀬朱美です。

早川たかみつ議員とともに「未来の佐野を明るくする会」という会派を結成しています。

常任委員会は、厚生常任委員会に所属しました。主な担当分野は、福祉、健康、医療、介護保険、子育て支援など、厚生に関連する幅広い分野を担当します。

新人議員として、先輩議員から多くを学びながら、市民の皆さまの声に耳を傾け、一つひとつの課題に丁寧に取り組んでまいります。佐野の未来がもっと明るく、暮ら

しやすくなるよう、精いっぱい努めてまいります。

6月定例会:男女共同参画^{※1}推進

—誰もが輝ける職場と地域へ—



佐野市でも、若い世代向けの講座として、男性のワーク・ライフ・バランスや女性のキャリアアップ講座などを開催しています。私自身も参加経験があり、若者が参加しやすい時間帯や講師選びを工夫する必要があると指摘。若い世代の参加が行政への関心や意見反映につながり、市の活性化にも寄与するとして、今後も新しい情報発信と市民ニーズを踏まえた講座運営を求めました。

「佐野市男女共同参画推進パレット賞」は、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスに優れた企業を表彰する制度です。

私は、応募企業を増やすためのインセンティブ設定を提案しました。質問内容の一部をピックアップしましたのでご覧ください。



より多くの企業に応募してもらうために、受賞企業にインセンティブを設定してはどうか？



受賞企業を市ホームページやSNS・広報紙で広く紹介している。他自治体の事例を参考に、今後さらなるインセンティブ設定を調査研究していきたい。



執行部

重要ポイント

男女共同参画の取組を“表彰で終わらせない仕組み”にすることが重要です。企業が誇りを持って継続できるよう、市として支援策の具体化を求めました。

ワークライフバランス



※1 男女共同参画とは、性別にかかわらず、互いを尊重し合いながら、社会のあらゆる分野で共に責任を担い、力を発揮できる社会を目指すこと。(出典：内閣府男女共同参画局)

9月定例会:高齢者買物支援

—地域の助け合いで支える暮らし—

佐野市の75歳以上人口は19,876人(令和7年8月)、独居世帯は3,427世帯(約18%)。「独居世帯だけでなく、夫婦世帯でも移動手段を失えば買物弱者になり得る」と指摘しました。



そこで私は買い物支援の拡充を訴えました。その内容は以下の通りです。



高齢者が増える中、今後の買い物支援を拡充していくべきと考えますが、当局の見解を伺いたい。



高齢者の買物支援について、市は住民主体のサービス拡充を進め、生活支援コーディネーターによる地域団体への働きかけを強化する方針です。併せて、運賃助成や生活援助券、介護保険による買物代行などを活用し、ネット販売など新たな手段の普及も促進します。高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう、状況に応じた支援を進めていきます。今後も民間連携やデジタル活用も含め、高齢者が安心して買物できる環境整備を進めていただきたいと思います。



金子市長

決算審査:健康と介護の両輪 で支える地域福祉へ

決算審査特別委員会では、令和 6 年度、一般会計、特別会計の歳入決算額合計約 870 億 4000 万円。歳出決算額は約 838 億 1500 万円。単年度収支についておおむね健全とし、決算の認定について賛成しました。

各種事業に質疑もしておりますが、主な質疑を掲載します。

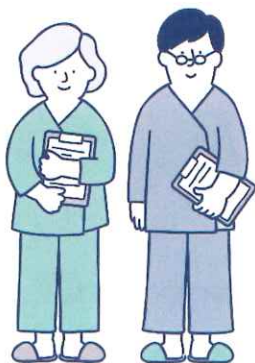
介護入門的研修事業について

地域の介護人材育成のため、介護の未経験者を対象に基礎研修を実施しており具体的な内容について質疑しました。この事業では県支出金を活用し、計 4 日間のカリキュラムを実施し介護の基礎知識を学ぶ研修です。介護職の良さを知り、本市でも不足している介護従事者が増加することを期待しています。



さの健康 21 プラン策定事業費

ガン検診（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん）の受診率は増加しているか質疑しました。平成 24 年では、17.9%、令和 5 年では、20%と受診率は向上しており、健康に対する意識の向上が見られました。



小さな拠点づくり推進事業費



小さな拠点づくり推進事業費について、具体的な内容について質疑しました。常盤地区、新合地区、三好地区の三つの地区にて、地域活性化支援事業補助金を活用し、ワークショップを開く予定でしたが、なかなか議論の熟度が高まらず勉強会形式までの開催にとどまってしまっているとの答弁でした。また、若い方や女性の方の参加もほとんどなく、子育てや育児が忙しく、活動する余力もなく、モチベーションも沸かないといった意見もあり、中山間地域の活性化するには時間がかかりますが、問題解決に取り組んで行くようお伝えしました。

事業所等 EV 充電設備導入支援事業



新規事業として立ち上がった理由について何うと市内の移動手段の多くがガソリン車を多く利用している状況で温室効果ガスが市内で削減できていない状況ということでした。今後も、二酸化炭素削減を図るため、移動環境を整備し、充電設備のインフラ整備を継続して行うという答弁でした。



陳情第3号

「地域医療確保に向けた 特別交付税の積極的活用を 求める陳情」について

佐野厚生総合病院から提出された陳情につきまして、所属する厚生常任委員会で審査されることになり、内容を把握し、質疑をした結果、条件付きの賛成討論を会派を代表し、初めて行いました。以下に内容をまとめました。

陳情内容

- ・ 特例交付金を活用して欲しい

委員会質疑でわかったこと

- ・ 特例交付金はすでに活用済み
- ・ 直近で約2千万円の支援事業を実施済

厚生常任委員会の質疑ではすでに佐野市は佐野厚生総合病院に支援をしている事実が明らかになりました。陳情内容をそのまま採択してしまうと、特に佐野市としては対応しなくてもよくなってしまうことから、不足部分がどこで問題解決のためには、佐野市と厚生病院双方が話し合い、対策をしていくことを付言し賛成討論としました。

重要ポイント

佐野厚生総合病院と佐野市が、お互いよく話し合い、問題解決に取り組みながら、誰もが安心して医療を受けられるまちづくりを進めることを期待しています。



まとめ

新人議員として、初めての議会を経験し、多くの方々の支えの中で一步を踏み出すことができました。日々、市民の皆さまからいただく声の一つひとつに、地域の現実や願いが詰まっていることを実感しています。

小さな声も大切に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、これからも現場に足を運び、学びながら取り組んでまいります。まだまだ未熟ではありますが、皆さまの温かいお力添えをいただきながら、少しずつ成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



6月定例会の一般質問の様子は左のQRコードを読み取ることでご覧になれます。

9月定例会の一般質問の様子は右のQRコードを読み取ることでご覧になれます。



市政へのご要望・ご相談がございましたら是非お聞かせください。

